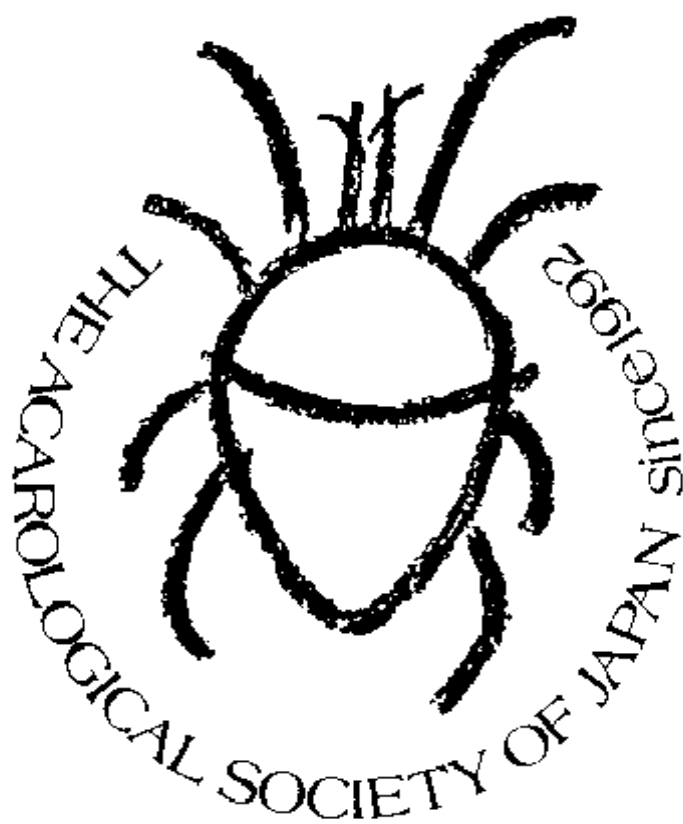

第24回
日本ダニ学会東京大会
プログラム



会 期：2015年9月11日（金）～13日（日）

会 場：法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー

事務局：〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

法政大学市ヶ谷キャンパス 自然科学センター内

電子メール：asj2015@acarology-japan.org

FAX: 03-3264-4143

目 次

大会要領	1
大会の案内	2
シンポジウム案内	3
一般講演 (9/12)	4
一般講演 (9/13)	6
大会参加者名簿	7
会場案内図	9

第 24 回日本ダニ学会東京大会運営組織

大会長： 上遠野 富士夫
事務局： 島野 智之（事務局長）
 鍵和田 聡（副事務局長・
 監事）
運営委員： 山本 敦司，加藤 綾奈
 山口 修平，飯塚 亮
 藤岡 伸祐，後藤 哲雄
後 援： 法政大学生命科学部応用
 植物科学科
 法政大学自然科学センター
 法政大学国際文化学部

第24回 日本ダニ学会東京大会要領

会期：2015年9月11日（金） ～ 2015年9月13日（日）

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー スカイホール（26階）
（東京都千代田区富士見 2-17-1）

日程：9月11日（金）

14:00 ～ 15:20 編集委員会 （ボアソナード・タワー
9階 サイエンスルーム（BT900室））
15:30 ～ 17:00 評議員会 （ボアソナード・タワー
9階 サイエンスルーム（BT900室））

9月12日（土）

8:30 ～ 受付
8:55 ～ 9:00 開会挨拶
9:00 ～ 12:28 一般講演（講演番号1～16）
12:28 ～ 13:45 昼食・休憩
13:45 ～ 15:00 写真撮影・総会
15:00 ～ 16:05 一般講演（講演番号17～21）
16:20 ～ 17:50 日本衛生動物学会 共催 公開シンポジウム
「マダニ媒介感染症の現状」
司会：川端寛樹（日本衛生動物学会）・五箇公一（日本ダニ学会）
18:00 ～ 20:00 懇親会（ボアソナード・タワー 26階 A会議室）

9月13日（日）

9:00 ～ 12:15 一般講演（講演番号22～36）
12:15 ～ 12:20 閉会挨拶

大会の案内

受付

- 9月12日(土)の8:30から会場前にて行います。受付にて参加費4,000円(学生は2,000円)、懇親会費6,500円(学生は3,000円)をお支払いください。
- 受付で名札をお渡ししますので、会場内で着用してください。

一般講演

- 講演は1題につき、発表10分、質疑3分をお願いします。時間厳守をお願いします。前の演者が次の講演の座長を順に努めていただきます。ただし、9月12日の午前の最初と9月13日の最初の講演の座長は、スタッフが務めます。
- 講演はすべて大会が準備したパソコン(Windows版PowerPoint2007または2010)にプレゼンファイルをインストールしていただき、液晶プロジェクターで行っていただきます。PowerPointは、マウス機能付きレーザーポイント(コクヨELA-MRU41)を利用して、演者ご自身で操作していただきますが、必要な場合には、大会スタッフがサポートいたします。
- 本大会終了後1ヶ月以内に、講演要旨を日本ダニ学会編集部へ提出してください。

記念写真

- 9月12日(土)の昼食・休憩後の午後1時45分から、会場内にて撮影しますので、遅れずにご参集ください。写真は、9月13日(日)に受付にてお受け取りください。

昼食・休憩

- 夏休みのため、学内の食堂は全て休みです。
- 市ヶ谷キャンパス内、外濠校舎1F(外濠沿い)にセブンイレブンがあります。ボアソナード・タワーから市ヶ谷方面の交差点近辺に、ホットモットがあります。
- 飯田橋駅周辺に、注文に時間のかからない飲食店が多数あります。ご利用ください。

懇親会

- 9月12日(土)18:00より、ボアソナード・タワー26階のA会議室で開催します。

日本ダニ学会・日本衛生動物学会 共催 公開シンポジウム

「マダニ媒介感染症の現状」

概要：マダニ媒介性感染症について理解を深めるとともに、ダニが媒介する感染症対策として「今、そして今後」何が必要かを議論する場としたい。

日時：2015年9月12日（土）16:20-17:50

会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス

ボアソナード・タワー 26階 スカイホール

入場無料

司会 川端寛樹（日本衛生動物学会）・五箇公一（日本ダニ学会）

- 1) 「病原微生物感染に関与するマダニ生物活性分子について」
田仲哲也 先生（鹿児島大学）
- 2) 「サーベイランスから推定される SFTS ウイルス伝播サイクル」
宇田晶彦 先生（国立感染症研究所）
- 3) 「ダニ媒介性ウイルス感染症の現状」
西條政幸 先生（国立感染症研究所）
- 4) 「野生動物界と人間社会のインターフェースとしてのダニ媒介感染症問題」
五箇公一 先生（国立環境研究所）

9月12日（土）

- 8:30 受付
- 8:55 開会挨拶
- 9:00 **1** リンゴ園下草及び周辺植生の風媒花花粉を餌とした時の土着カブリダニ類の発育・産卵
○岸本 英成・柳沼 勝彦（果樹研・リンゴ）・外山 晶敏（果樹研・ブドウカキ）
- 9:13 **2** マイクロサテライトマーカーによるモモ園のケナガカブリダニ移動分散評価と保護強化について
○日本 典秀（農研機構・中央農研）・川口 悦史（福島農総セ果樹研）・下田 武志（農研機構・中央農研）
- 9:26 **3** リンゴ園地でカブリダニの有効な利用方法を考える
羽田 厚（岩手農研セ）
- 9:39 **4** 茶園における微小昆虫捕獲装置を用いたダニ類のモニタリング
○小澤 朗人・内山 徹（静岡茶研セ）
- 9:52 **5** 分散できる状況でのハダニとカブリダニの攻防（1）
○大槻 初音・矢野 修一（京大院・農・生態情報）
- 10:05 **6** 分散できる状況でのハダニとカブリダニの攻防（2）
○矢野 修一・大槻 初音（京大院・農・生態情報）
- 10:18 **7** ハダニとカブリダニの卵に対する真空処理の効果
○王 至弘・細見 亜耶佳（茨城大・農）・鈴木 丈詞（農工大・BASE）・北嶋 康樹・後藤 哲雄（茨城大・農）
- 10:31 **8** シソサビダニ*Shevtchenkella* sp. の発育と産卵に及ぼす温度の影響
○武井 円（法政大院・理工）・中平 知芳・岡田 知之（高知農技セ）・鍵和田 聡・上遠野 富士夫（法政大・生命）
- 10:44 **9** シソ科植物のカキドオシから発見されたサビダニはシソサビダニか？
○秋永 将太・和泉 理美・黒岩 佑有（法政大・生命）・中平 知芳・岡田 知之（高知農技セ）・鍵和田 聡・上遠野 富士夫（法政大・生命）
- 10:57 **10** カキドオシ上のサビダニの28S rDNA-D2領域, rDNA-ITS領域およびミトコンドリアCOI遺伝子の塩基配列の解析
○和泉 理美・秋永 将太（法政大・生命）・中平 知芳・岡田 知之（高知農技セ）・上遠野 富士夫・鍵和田 聡（法政大・生命）
- 11:10 **11** 水田生態系の大型水生動物の多様性と生物間相互作用-ミズダニ類と水生昆虫-
向井 康夫（金沢大・環日）
- 11:23 **12** 都市公園緑地環境におけるマダニ類の分布について～仙台市を例として～
○大竹 秀男（宮城大・食産）・藤田 博己（馬原アカリ医研）
- 11:36 **13** 福井県定点調査地におけるマダニの季節的消長-重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の媒介サイクルの解明に向けて
○矢野 泰弘（福井大医）・石畝 史・平野 映子・大村 勝彦（福井県衛生環境セ）・高田 伸弘（福井大医）

- 11:49 **14** フタトゲチマダニ単為生殖系における卵巣および卵母細胞の発育
○三原 涼・白藤 (梅宮) 梨可・阿部 靖之・川野 優 (帯畜大・原虫研)・松尾 智英 (鹿大・寄生虫病)・藤崎 幸蔵 (農研機構)・鈴木 宏志 (帯畜大・原虫研)
- 12:02 **15** フタトゲチマダニ単為生殖系 (岡山株) の共生細菌叢について
○白藤 (梅宮) 梨可 (帯畜大・原虫研)・中村 昇太・元岡 大祐・按田 瑞恵・飯田 哲也・堀井 俊宏 (阪大・微研)・三原 涼・鈴木 宏志・井上 昇 (帯畜大・原虫研)・藤崎 幸蔵 (農研機構)
- 12:15 **16** 小笠原産チビゲフリソデダニ属 (ダニ目ササラダニ亜目) の1未記載種について
○萩野 航 (北大・理院)・島野 智之 (法政大)

12:28 ~ 13:45 昼食・休憩

13:45 ~ 15:00 写真撮影・総会

- 15:00 **17** 静岡県のイチゴで発生しているナミハダニの薬剤感受性
○土井 誠・中野 亮平・石川 隆輔 (静岡農林技研)
- 15:13 **18** イチゴのナミハダニ黄緑型の簡易感受性検定法
○國本 佳範・今村 剛士 (奈良県農研セ)
- 15:26 **19** かごしま式防除装置による少量農薬散布が茶園のカブリダニの発生に及ぼす影響
○鹿子木 聡・上室 剛 (鹿児島農総セ)・瀬戸口 和樹・津田 勝男・坂巻 祥孝 (鹿児島大・農)・岸本 英成 (果樹研・リンゴ)
- 15:39 **20** アセタミプリドベイト剤によるハウレンソウケナガコナダニの防除
○清野 宏行・伊藤 彰彦・山本 敦司 (日本曹達 (株))・本田 善之 (山口県農林総技セ)
- 15:52 **21** 大量灌水後の土壌被覆がハウレンソウケナガコナダニ密度に与える影響
齊藤 美樹 (道総研・中央農試)

16:20 日本ダニ学会・日本衛生動物学会 共催 公開シンポジウム
~ 「マダニ媒介感染症の現状」
17:50

司会：川端 寛樹 (日本衛生動物学会)・五箇 公一 (日本ダニ学会)

1) 病原微生物感染に関与するマダニ生物活性分子について
田仲 哲也 (鹿児島大学・共同獣医・感染症)

2) サーベイランスから推定されるSFTSウイルス伝播サイクル
宇田 晶彦 (国立感染症研究所)

3) ダニ媒介性ウイルス感染症の現状
西條 政幸 (国立感染症研究所)

4) 野生動物界と人間社会のインターフェースとしてのダニ媒介感染症問題
五箇 公一 (国立環境研究所)

9月13日（日）

- 9:00 **22** 雄の交尾前ガードが雌の発育を早める
奥 圭子（農研機構・中央農研）
- 9:13 **23** タケスゴモリハダニおよびその近縁種における雄間闘争の変異
○蔡 永海（愛媛連大）・伊藤 桂・福田 達哉・荒川 良（高知大・農）・齋藤 裕
（福建省農業科学院）
- 9:26 **24** カシノキマタハダニの意外な対捕食者戦略について
伊藤 桂（高知大・農）
- 9:39 **25** ハダニRNAiにおけるdsRNA投与方法
○鈴木 丈詞（農工大・BASE）・Maria Urizarna Espana・Maria Andreia Nunes・
Hooman Hosseinzadeh Namin・Vladimir Zhurov・Vojislava Grbic・Miodrag Grbic
（ウェスタンオンタリオ大・生物）
- 9:52 **26** チャのカンザワハダニ生息密度と荒茶中の各アミノ酸・カテキン類との関係
小俣 良介（埼玉茶研）
- 10:05 **27** 昆虫寄生性ダニの寄生率にかかわる要因
○岡部 貴美子・神崎 菜摘・井手 竜也（森林総研）
- 10:18 **28** マルハナバチポリプダニの生態リスク評価
○五箇 公一（国立環境研）・岡部 貴美子（森林総研）・土田 浩治（岐阜大）
- 10:31 **29** アカリンダニがニホンミツバチの越冬におよぼす影響
○前田 太郎（生物研）・坂本 佳子（国立環境研）
- 10:44 **30** クロボシヒラタシデムシを利用するヒゲダニについて
田神 一美（筑波大・体育系）
- 10:57 **31** 固有价值問題を解くことがダニ研究において有用な理由
笠井 敦（国環研）
- 11:10 **32** ニキビダニはまぶたに炎症を引き起こす原因か？
○加治 優一（筑波大・眼科）・大鹿 哲郎（筑波大・眼科）
- 11:23 **33** ダニ類の高次分類を考える
島野 智之（法政大）
- 11:36 **34** 鹿児島県におけるカンザワハダニの冬期の産卵特性
○上室 剛・末永 博¹⁾（鹿児島農総セ茶業部，¹⁾ 現鹿児島農総セ熊毛支場）
- 11:49 **35** 冷却期間の長さがスミスアケハダニの休眠卵の休眠消去に及ぼす影響
○高野 友二郎・後藤 哲雄（茨城大・農）
- 12:02 **36** Night interruption: effects of light quality and intensity on diapause induction of *Tetranychus kanzawai* Kishida (Acari: Tetranychidae)
○Amini, M. Y.・A. Osawa・Y. Takano (Ibaraki Univ.)・T. Suzuki (Tokyo Univ. of Agr. & Tech.)・Y. Kitashima・T. Gotoh (Ibaraki Univ.)

参加者 (2015年8月25日現在)

氏名	所属	講演番号
A 秋永 将太	法政大学生命科学部応用植物科学科	9
天野 洋	京都大学大学院農学研究科	
Amini, Mohammad Yosof	茨城大学農学部応用動物昆虫学研究室	36
青木 淳一	横浜国立大学 (名誉教授)	名誉会員
C 蔡 永海	愛媛大学大学院連合農学研究科	23
鎮西 康雄	三重大学 (名誉教授)	名誉会員
D 土井 誠	静岡県農林技術研究所	17
F 藤岡 伸祐	日本農薬株式会社	
G 五箇 公一	国立環境研究所	28 シンポジウム
後藤 哲雄	茨城大学農学部	
H 羽田 厚	岩手県農業研究センター	3
萩野 航	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻多様性生物学講座	16
長谷川 佳代子	東京慈恵会医科大学熱帯医学講座	
日本 典秀	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター	2
I 飯塚 亮	東京都農林総合研究センター	
今村 剛士	奈良県農業研究開発センター	
伊藤 桂	高知大学農学部	24
和泉 理美	法政大学生命科学部応用植物科学科	10
K 上遠野 富士夫	法政大学生命科学部応用植物科学科	学会長・大会長
鍵和田 聡	法政大学生命科学部応用植物科学科	
加治 優一	筑波大学医学医療系眼科	32
鹿子木 聡	鹿児島県農業開発総合センター茶業部	19
上室 剛	鹿児島県農業開発総合センター茶業部	34
笠井 敦	国立研究開発法人国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター	31
加藤 綾奈	東京都農林総合研究センター	
川端 寛樹	国立感染症研究所	シンポジウム
岸本 英成	農研機構果樹研究所リンゴ研究拠点	1
國本 佳範	奈良県農業研究開発センター	18
M 前田 太郎	国立研究開発法人農業生物資源研究所 昆虫相互作用研究ユニット	29
松尾 智英	鹿児島大学共同獣医学部	
三原 涼	帯広畜産大学 原虫病研究センター	14
望月 雅俊	農研機構 果樹研究所	
元木 貢	アペックス産業株式会社	
向井 康夫	金沢大学 環日本海域環境研究センター	11

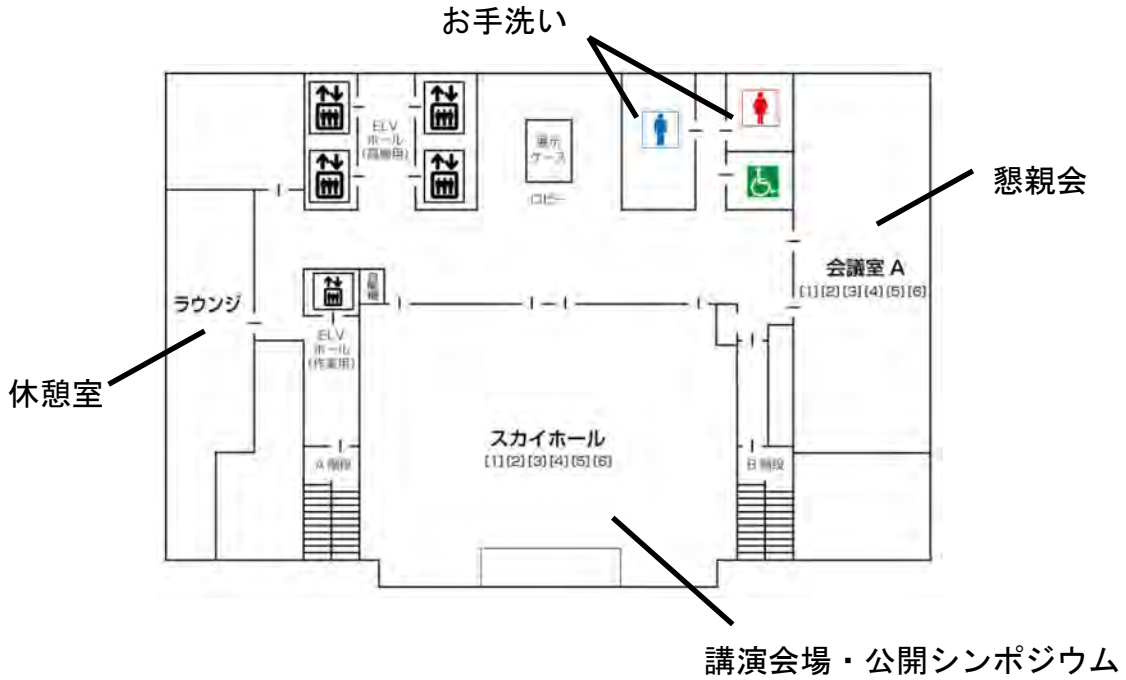
N	中野 亮平	静岡県農林技術研究所	
O	大久保 憲秀	ササラハウス	
	岡部 貴美子	国立研究開発法人森林総合研究所	27
	奥 圭子	農研機構 中央農業総合研究センター	22
	小俣 良介	埼玉県茶業研究所	26
	大竹 秀男	宮城大学食産業学部	12
	大槻 初音	京都大学大学院 農学研究科 生態情報開発学研究室	5
	小澤 朗人	静岡県農林技術研究所茶業研究センター	4
S	西條 政幸	国立感染症研究所	シンポジウム
	齊藤 美樹	北海道立総合研究機構 中央農業試験場	21
	清野 宏行	日本曹達株式会社	20
	島野 智之	法政大学自然科学センター	33
	篠原 光太郎	静岡大学大学院 総合科学技術研究科 応用昆虫学研究室	
	白藤 (梅宮) 梨可	帯広畜産大学 原虫病研究センター	15
	須藤 正彬	農業環境技術研究所 農業環境インベントリーセンター	
	鈴木 丈詞	東京農工大学 生物システム応用科学府	25
T	田神 一美	筑波大学体育系	30
	高田 歩	NPO静岡県自然史博物館ネットワーク	
	高藤 晃雄	京都大学 (名誉教授)	名誉会員
	高久 元	北海道教育大学札幌校	
	高野 友二郎	茨城大学農学部応用動物昆虫学研究室	35
	武井 円	法政大学大学院 理工学研究科	8
	田仲 哲也	鹿児島大学・共同獣医・感染症	シンポジウム
U	宇田 晶彦	国立感染症研究所	シンポジウム
	宇野 温子	滋賀県草津市	
W	王 至弘	茨城大学農学部応用動物昆虫学研究室	7
Y	山口 修平	東京都病虫害防除所	
	山本 敦司	日本曹達 小田原研究所磐梯FRS	
	矢野 修一	京都大学大学院 農学研究科 生態情報開発学研究室	6
	矢野 泰弘	福井大学医学部病因病態医学講座医動物学領域	13

会場案内図

法政大学 市ヶ谷キャンパス（東京都千代田区富士見 2-17-1）

(<http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/campus/ichigaya/>)

ボアソナード・タワー 26階 スカイホール（青いエレベータでお越し下さい）



市ヶ谷キャンパス案内図 | 2014年12月下旬～2016年夏頃

2014.12.11

※掲載内容は2014年12月11日現在の予定であり、今後内容が変更される場合があります。

